

MeiSeiZei



「名青税、
いつやろ?」
「是非、
私たちと一緒に頑張り
ませんか?」



平成25年5月18日
(土)に開催されました第48回定
時総会において、名古屋青年税理士連
盟の会長に就任いたしました、中川支部の中
垣吉晴と申します。どうぞ、1年間よろしく願い
たいします。

私は、平成17年に名青税に入会しました。入会してか
らは、様々な部に所属し、多くの先輩や仲間に出会い、勉強
させてもらいました。執行部としては、3年前に初めて研究部
長を務めさせて頂き、それから厚生部長、厚生担当副会長を務
めさせて頂きました。私は十分な下積みもなく、この名古屋青税
に対して何らの貢献していないにもかかわらず、今期は会長とい
う大役を仰せつかることとなり、微力な私でつとまるのか甚だ心も
ないのですが、一生懸命に務めさせて頂きたいと思っております。

皆さん、税理士としてどのような心構えで毎日働かれていますか。
税理士は、税務の専門家として、納税者に対して、すべて自分の責
任において答えなければなりません。また、毎年のように改正され
る税法にも対応するために勉強しなければなりません。さらに、
個人開業である場合には、経験する機会はどうしても少なく
なってしまいます。そこで未入会者の皆さん是非、名青税の
ドアを叩いてみませんか。名青税には、よき先輩よき仲間
があなたを待っています。少なくとも私は、名青税に入
会したからこそ得られたものが沢山あります。税理
士としての心構えを教えて頂いたのも、この名
青税です。諸先輩方の経験談を聞ける
のも、この名青税ならではの思
います。未入会者の皆

さん、是非一緒に勉強
して、より一層税理士業務を充実
させようではありませんか。

今年度のスローガンは、「名青税、いつや
ろ? 今でしょ!」を掲げました。このスローガンは、
会員の方々には「活動を通して、税理士としてのより一
層の資質の向上のために立ち上がろう!」という気持ち
を込めて、未入会者の方には「是非、私たちと一緒に頑張り
ませんか?」という思いを込めて、掲げさせて頂きました。
是非皆さん、青年らしく自由な発想で、ポジティブな議論をして、
出来ることは後回しにせず、前向きに行動していきませんか。
税理士としてこれらのことがチャレンジ出来るのは、名青税だけで
あると信じています。

名青税は、今年で約47年が過ぎようとしている歴史ある団体
です。得るものが無いような団体であれば、ここまで長く続かない
でしょう。先輩方が築き上げられたものを更にみなさんと一緒に発
展させていきたいと思っています。

私一人では何も前に進むことができませんので皆さんと一緒に、
伝統ある名古屋青年税理士連盟をさらに飛躍できるようにと
思っています。今年度も前年度以前同様、変わらないご支
援の程をよろしくお願いいたします。

新会長 中垣 吉晴
(中川支部)



第48回定時総会

日時／平成25年5月18日

場所／名古屋税理士会ビル



5月18日(土)13時30分より税理士会ビルにて、第48回定時総会が行われました。この日は、数日前まで雨の予報でしたが、当日は天気にも恵まれました。そして、この日を迎えるに当たり、旧執行部も新執行部も入念に準備をしてきました。さあ、舞台は整いました。一年の締めくくりと一年のスタートの時、例えると前執行部にとっての卒業式、新執行部にとっての入学式みたいなものですね。最高の一日となつてほしい! 最高の一日になりましたか? 安藤前会長! 中垣新会長!

前置きはさておき、総会においては、序盤は厳粛に肅々と言う感じです。安藤前会長のあいさつから始まり、前事業年度報告がされました。改めて聞いていると、いろいろやったのだなと感じます。うーん、理事会で数々の激論があったことが思い出されます。前執行部のみなさん本当にお疲れ様でした。と、言うのはまだ早いのでしょうか? 今回は規約改正についての審議が行われました。実は理事会での激論もこの議題についてのイメージが強いです。理事会では様々な意見が飛び交いました。総会ではどうなるのか? と思うのは私だけではなく、前事業年度の理事のみなさんは気になるところだったことでしょう。執行部のメンバーからも緊張が伝わってきます。…結果は賛成多数! 長い審議を経て、表に出てきた規約改正。本当に良かったと思います。

前執行部に係る議案はすべて承認され、徐々に緊張ムードも崩れてきました。そして、みなさんの拍手を受け中垣執行部へバトンタッチ。順調に事業計画等の説明、会長の所信表明と行われていきました。要所で、ドキッとする質問もありましたがそこは会長の熱い想いが言葉となり、受け取って頂けました。「名青税いつやるの? 今でしょ!」をスローガンに一年がスタートします。「今でしょ!」がいつまでもつかはさておき、その想いはずっと続けていかないといけないことですよね。また、総会という機会でも毎年感じることがあります。それは名古屋青年税理士連盟の歴史と、諸先輩方みなさんの熱い想いです。その熱い想いがあるからこそ、執行部や若い世代にエールを送って頂けるのだと思います。こうやって脈々と意志が受け継がれて、第48回定時総会まで至っているわけです。これからまた一年、新しい歴史を作っていくことになります。各会員一人一人が作っていくものです。今までに負けないくらい楽しくて、学べる名青税になるよう、有意義な一年にしましょう。

総務副部長 安藤 宣貴

第48回名古屋青税定時総会終了後、恒例の懇親会がルブラ王山にて盛大に開催されました。総会を無事終え、名青税各支部多数の出席者の皆様が晴れやかな笑顔で開会を迎えました。

まずは、中垣吉晴新会長の「名青税いつやるの?今でしょ!」との本年度名青税テーマである勢いの良い挨拶から始まり、その後、岐阜青年税理士連盟の中野一宏会長からご祝辞をいただきました。そのご祝辞において、名古屋青年税理士連盟の魅力は、一つ一つのことに対し、意味を持って目的を持って行事に真剣に取り組んでいることだという、客観的で有り難い感想をいただきました。

そして名古屋税理士協同組合 理事長 の大橋裕志先生から、ご自身の名古屋青年税理士連盟の思い出を交えつつ乾杯の音頭をいただき、幅広い年齢層の会員が語らう歓談へと入りました。歓談が進み、会員相互の近況状況などのやりとりが活発になり、にぎやかになった中、本年度の名青税の各支部をとりまとめる各支部長が壇上に上がり、それぞれの想いをお話いただき、ますます会場は盛り上がりました。

その会場の盛り上がりが高まる中、懇親会恒例のアトラクションへと場面は移りました。今年のアトラクションは、税理士格付けチェック!ということで、ビール、おにぎり、チーズ、果物、ポテトチップスなどコース仕立ての「どちらが高級品?」かを当てる競争が各支部対抗にて行われました。普段なかなか個人ではできず、また、くだらないけれどもそこに真剣になって正解を競う中、各支部がおおいに盛り上がり、懇親をますます深める時間となりました。

その後、全国青年税理士連盟 全国大会実行委員長の坂田寛先生より全国大会のPRをいただき想いを一つにした後、本定時総会をもって名青税を卒業される会員の皆様へ記念品の授与が行われ、前総務担当副会長の久保武史先生より、青税をやりきったと感じさせられる爽やかな御礼の挨拶をいただきました。続いて、前年度青税を全うされた安藤前会長をねぎらい、中垣新会長から花束贈呈が行われました。長年、青税に携われた安藤前会長から青税に対する想いの言葉をいただき、瞳に光るものを浮かべながら話される安藤前会長から、会場内の会員はそれぞれ青税に対する特別な想いを感じさせていただきました。

まさに宴もたけなわの中、中締めとして、株式会社 税理士会館 取締役の渥美雅裕先生より激励のお言葉を頂戴し、懇親会は閉会いたしました。

税理士としての任務を全うし世の中に役立つために真剣に取り組む、また、飲み語らうときは飲み語らうというメリハリ、そんな会員相互が時間を共有する中で知識・友情を育み人間としても成長していける場、それが青税の魅力の一つではないでしょうか。

夏には家族会も開催される予定です。皆様、ご家族そろって、この魅力溢れる中垣新体制の名青税へのご参加を心よりお待ちしております。いつ参加するの?今でしょ!

厚生副部長 美谷脇 東治



名古屋青年 税理士連盟 懇親会

日時／平成25年5月18日

場所／ルブラ王山





水野 誠 (千種支部)

総務担当副会長

今年度、総務担当副会長を拝命しました千種支部の水野誠です。

さて、今年度の中垣執行部は「名青税、いつやるの?今でしょ!」という流行りをまんまパクったスローガンです(笑)が、実はここには中垣会長の熱い思いが込められていると思っています。

平成13年税理士法改正の影響もあり、忙しい、金がない、時間がない...いろんな理由で青税活動を自粛せざるを得ない人も多いのが実態だと思います。でも、そんなこと言いながら、日々に追

われて歳を重ねていいのか?真剣に税理士業界の事を考えるのは、僕ら若手の税理士じゃないのか?ディベートなどを通じて勉強するのは?みんなと大人数でバカになって遊ぶのは?一体いつ真剣になるんだ?

こんな熱いメッセージが冗談の裏に見え隠れしている、実は結構まじめで繊細(笑)な中垣会長を支えるべく、総務部一同で頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします!楽しんで活動していきましょう!



濱田和希 (北支部)

研究担当副会長

皆さんこんにちは。今年度研究担当副会長を務めさせていただきます。

濱田和希です。

研究部は税法に関する勉強をするのが主な活動内容となっています。日頃頭の消費カロリーが成人男性の平均値を大きく下回っている私がこのような部を担当させていただくということで大変身の引き締まる思いです。

今年度の研究部は判例研究を行い、その成果の発表の場としてここ数年来行っていますディ

ベート大会も予定しています。

こちらのほうは、今までのルールに則った競技としてのディベートから少し実務色を加味した税理士として役立つディベートを行うことができれば、と考えています。

頼りになる部長、副部长達と共に有意義な研修、研究活動を行いたいと思っていますので一年間よろしくお願いします。

部員さんは随時募集していますので、ご興味ありましたらご連絡ください。



宇佐美貞幸 (東支部)

制度担当副会長

この度、制度部担当副会長を仰せつかりました宇佐美貞幸と申します。副会長という大役に、戸惑いながらも身の引き締まる思いです。

趣味はバイクツーリング(春と秋)と、この歳で再燃したガンブラ作り(夜な夜な)です。のんびりとした性格で気遣いがあまり上手くできないので、副会長には向いていないのですが、優秀な制度部部長・副部长を筆頭に皆様のご協力を得て、

できる限り会員の皆様が楽しく参加頂けるような、また実務に役に立つ情報交換がし易い雰囲気作りに努めたいと思います。

これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



大野治彦 (西支部)

組織・広報担当副会長

今年度、組織・広報担当副会長を務めさせていただきます、西支部の大野治彦です。

今までずっと組織・広報部に携わり、副部长、部長と務めてまいりましたが、青税ラストイヤーに副会長という大役を仰せつかりました。「会員増強」と「多くの皆さんに名青税を知っていただく」ことを念頭に置き、支部長の皆様と連携していきたいと考えております。この1年間精一杯頑張っ

てまいりますので、よろしくお願いいたします。

<ブログやfacebookにて名青税活動を日々配信中です!>



形部 恒 (中支部)

厚生担当副会長

本年度、厚生担当副会長を拝命しました中支部の形部恒です。

これまで名青税の役職に就いた経験もなく、私自身、名青税ラストイヤーの年。果たして良いのだろうか、自問する日々。その答えを導いてくれたのは、名青税の諸先輩方、仲間達でした。ここ数年で、正会員の減少が顕著になってきております。そんな仲間達ができる、或いは増えていくかっ

けとなるような厚生行事を目指し、一年間、取り組んで参りたいと思っております。

一年間、宜しくお願いいたします。



小林 弘隆 (北支部)

総務部長を務めさせていただくことになりました北支部の小林弘隆です。

昭和51年生まれの36歳、獅子座のA型Rh+。
好きな食べ物はミルフィーユともやしと酢豚と
チーズおかきと牧場しぼり(バナナ)です。

今年度は総務みんなで力を合わせて円滑な理

事会運営をすすめ、支部と名青税とのスムーズなコミュニケーションのために尽力し、事務局をコグレイに保つことを目指します。頑張ります。

総務部長



高崎 勇一 (中川支部)

今年度は、中川支部から史上初、なおかつ最初で最後の名青税会長が誕生しました。

顔、体重、人間としての器、すべてがBIGな中垣会長を全力で支え、名青税のために頑張っていく決意です。

皆さんからお預かりした、大切な会費を決して

無駄にすることなく、皆さんのために様々な形で還元できるよう管理・運営していきます。

とまあ、堅苦しいことを書きましたが、そんなことよりも、今年一年間、楽しく名青税の活動をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

経理部長



濱 久人 (千種支部)

本年の研究部長を務めさせて頂くこととなりました、千種支部の濱久人です。

今年の研究部は、例年以上に「明るく、楽しく、そして充実した研究部」をモットーに、判例研究を中心とした活動を行いたいと思います。部会への参加が基本となりますが、部会終了後の酒席

からのご参加也大歓迎です。お気軽にご参加ください。

研究部から名青を精一杯、盛り上げて行きたいと思います。

一生懸命頑張りますので、皆様、1年間どうぞよろしくお願い致します。

研究部長



前田 晃教 (半田支部)

今年度、制度部長を仰せつかることになりました、半田支部の前田晃教と申します。

3人の子持ちであり、そこだけは国に貢献出来ている私であります。名青税への入会は5年ほど前ですが、お知り合いの方も増え、名青税に大変感謝しております。が、私自身は名青税への貢献ができていないかと思うと、?です。それではなにかお役に立てる事はないかと思い、今回お引き受けいたしました。とはいえ、

実際に私がお役に立てるか?です(おいつ)。

さて、今年度は税理士制度について、諸国の制度も含めた幅広い視野で研究をしていきたいと思っております。また、11月3日にあります全青税シンポの担当でもあります。宇佐美副会長、長岡副部長、片山副部長そして部員の皆様と一緒に、制度部を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

制度部長



白井 義人 (熱田支部)

今年度、組織・広報部長を務めさせていただきます熱田支部の白井義人です。

私は、「ブログ」も「ホームページ」も使ったことがないので、この一年間少しでも使えるようになったらいいなあと考えております。

大野副会長・赤堀副部長・俵副部長・部員の皆

様と協力し、「名青税活動を皆様へ広報」していきたいと思っております。

この1年間、精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

組織・広報部長



水谷 公俊 (千種支部)

今年度厚生部長を務めさせていただくことになりました千種支部の水谷公俊です。

今以上に団結力ある名青税になるよう望んでおります。仲間がいるところから名青税の力は発揮されるのだと思います。力強い結束に結びつくよう、よりお互いを知る機会ができるよう、会員の

皆様の親睦のためにより良き厚生行事を企画していこうと思っております。各行事に是非とも御参加下さい。

厚生部一丸となって頑張っていきますので、一年間どうぞ宜しく御願い致します。

厚生部長



安藤 宣貴 (東支部)

東支部の安藤宣貴と申します。早いもので青税活動3年目となりました。今年は総務副部長を務めさせて頂けるみたいです。務まるのかな?…イヤイヤ、務めない!と言っても、わからないことだらけだと思いますので、ご迷惑をお掛け致しますがよろしくお願い致します。

皆さんが活動しやすくなるよう総務の一員として名青税をそして会長を支えればと思っております。

ます。(会長を支えられるのかな?)まあ、上役にはできる先輩方もいますしね。ということで、一年勉強させて頂けます。よろしくお願い致します。

総 務 副 部 長



井 藤 哉 (半田支部)

まいど。半田支部の井藤哉でございます。本年度の研究副部長を務めさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

研究部の運営は、担当副会長と部長にお願い、部員さんの先頭に立って盛り上げていく役割割ばいです。

本年の活動としては、例年のディベートと、ディスカッション形式による発表を予定しています。

どちらも口で勝負!って感じですね。というか黙ってたら負けです。ハイ。

元研究部長が言っていました。「一番美しい声の鳥しか鳴かなかつたら、森は静かになってしまうだろう」

研究部のみなさま、一緒に鳴きませう。

ピ〜♪チク♪

パ〜♪チク♪

研 究 副 部 長



沖 昇 吾 (西支部)

今年度、研究副部長を務めさせていただきます西支部の沖と申します。

税理士登録から1年足らずで、いまだ税法の何たるかがわかっておりませんので、今年も研究部の活動を通じてお互い切磋琢磨していきたいと考えております。

できれば地味に活動していきたいのですが、行事予定にディベートが入っている以上、今年も

悪目立ちすることになりそうです。

行事の運営から、活動成果の青税全体へのフィードバックまで、濱田研究担当副会長と濱田研究部長の熱い思いを支えて、井藤副部長とともに頑張っていく所存です。

一年間よろしくお願いいたします。

研 究 副 部 長



長 岡 大 輔 (熱田支部)

このたび制度副部長を務めさせていただきます熱田支部の長岡大輔です。昭和49年生まれの38歳。趣味は体を動かすことで、休みの日はスポーツジムか名城公園にかなりの確率で出沒します。

制度部に所属するのは初めてですが、宇佐美副会長、前田部長の片腕として、部の運営をしっかりサポートしていきたいと思っていますので

1年間どうぞよろしくお願い致します。

制 度 副 部 長



片 山 映 理 子 (東支部)

今年度、制度副部長を務めさせていただきます東支部の片山映理子です。

入会してからこれまでの数年、名青税の活動には非常に消極的でしたので、何故この立ち位置に自分がいるのか不思議に思う会員の方がほとんどだと思います。まあ、一番驚いているのは自分ですけど!

今年度の制度部は無理せず、楽しくがモットー

です(あくまで個人的希望)。頼りない副部長だとは思いますが、これから1年間、ユルユル頑張っていると思っていますので、皆さまのご支援のほどよろしくお願い致します。

制 度 副 部 長



赤堀 智信 (昭和支部)

組 織 ・ 広 報 副 部 長

今年度、組織・広報副部長を務めさせていただきます昭和支部の赤堀智信です。

今まで支部の方にばかりかわっていたため、名青税に関しては未知の部分がたくさんあります。そんな中で、今回副部長を務めさせていただくわけですが、何をどうしていいやら…(実は昔組織・広報部員だったことがあります。が幽霊部員でしたので、組織・広報部のことについてあまり

よくわかっていません…。)

何も知らないからと焦ってもしようがないので、「そのうち何とかなるだろう」という気持ちで、大野副会長、白井部長になるべく迷惑をおかけしないように頑張りたいと思います(笑)。

一年間よろしく願いいたします。



俵 直人 (中支部)

組 織 ・ 広 報 副 部 長

組織・広報副部長を務めさせていただきます、中支部の俵直人です。

名青に加入してだいぶ年数経ちましたが、初めて組織・広報部に携わることになりました。アナログな人間だし、組織・広報部を初めてやる人が副部長でいいのかなと思いますが、まあ1年経てばちょっとはデジタル化しているかなと思いつつ、ちょっと足を踏み入れたら結構大変。

そんな私ですが、大野副会長、白井部長、赤堀副部長の3歩後ろを追ってきながら一年間頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。



美谷脇 東治 (中支部)

厚 生 副 部 長

O型、くろひょう、尾崎豊好きの中支部 美谷脇東治と申します。

この度、厚生部副部長を務めさせて頂くことになりました。青税中支部のご縁から、名古屋青税にてこのようにお手伝いさせていただくのは初めてですが、厚生部の一員として微力ながら名青税に貢献できればと思います。

まずは家族会、子供の笑顔があふれる会にな

ればと考えております。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



宮田 文香 (西支部)

厚 生 副 部 長

本年度、厚生部副部長を務めさせていただきます西支部の宮田文香です。

昨年に引き続き、大役を仰せつかりました。

形部副会長・水谷部長・美谷脇副部長・部員の方々と協力し、会員の皆さんに積極的に参加して頂ける厚生行事を企画していきたいと思っています。

そして、厚生行事を通して名古屋青年税理士

連盟を知って頂き、入会のきっかけとなれば幸いです。

皆様のご期待に添えるか不安ではありますが、中垣会長のもと尽力してまいります。

一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

第 1 回 名 青 税 合同研修会

MeiSeiZei

会 場 / TKP名古屋ビジネスセンター
日 時 / 平成25年9月14日(土)

13:00~

受付開始

13:30~

第1部(研究部)

15:15~

第2部(制度部)



妹尾 明宏 (西支部)

妹尾明宏(セノオアキヒロ)です。会長と同じく乙女座O型です。

全青税委員長を務めさせて頂くことになりました。全青税の理事会って長いんですねー。なぜ長いつて、活発な議論が尽きないからのようです。どうしたら名青税の皆様に、全国の最新情報や熱い議論を適格に伝えられるか、頭を悩ませる

1年になりそうです。

ともあれ、元気に立ち回って行きたいと思っております。よろしくお願いします!

最近、メガネ生活ばかりで目がだんだん小さくなってきたので、コンタクト生活にするか悩んでいます。

全 青 税 委 員 長



水野 貴文 (千種支部)

本年度、名古屋税理士会会務検討委員長を仰せつかりました、千種支部の水野貴文です。

この委員会最大の企画は、名古屋税理士会役員との懇談会となります。若手税理士としての素朴且つ重要な問題意識、また各部の活動の中から浮かび上がってくる疑問点などを、意見交換の

場に持ち込んでいきたいと思っております。

1人でも多くの会員の方の意見を聞きたいと思っておりますので、遠慮などせず気づいたところをどんどん伝えて下さい。

1年間精一杯取り組んでまいります。よろしくお願い致します。

会 務 検 討 委 員 長



長尾 幸展 (中支部)

今年度新設されました組織問題検討委員会の委員長の長尾です。

この委員会は、名青税のこれからのあり方を考える事を目的としています。そのためには現在とこれまでの名青税を理解することが必要です。そして現在の名青税のよいところ、そして問題点があれば、どうしていけば、より魅力的な団体になるのかを考え

ていきたいと思えます。それと同時に、支部が抱えている問題や名青税に対する要望を支部・名青税間で共有し検討することができればと考えています。

なにぶんにも、できたばかりの委員会です。支部長はじめ会員の皆さんに広く参加していただきたいですし、またメール等でもご意見をいただければ幸いです。

組 織 問 題 検 討 委 員 長



斎藤 浩基 (中支部)

このたび組織問題検討委員会の副委員長を拝命しました中支部の斎藤です。名青税における近年の問題点の1つとして正会員の減少が挙げられます。税理士法人の増加や税理士試験の難解化に伴う合格年齢の高齢化も一因とされていますが、だからといって、この問題を黙って見過ごす

わけにいきません。そのために支部の垣根を越え、また賛助会員のご意見も伺いながら有意義な議論していきたいと思えます。委員長を補佐し任務を遂行していく所存ですので、1年間どうぞよろしくお願い致します。

組 織 問 題 検 討 副 委 員 長



恒 川 貴 光 (千種支部)

今年度、監事を仰せつかりました千種支部の恒川貴光と申します。

私は名青税の在籍年数だけはそれなりにありますが、今まで役らしい役をやったことがありません。

自分の名青税での活動を振り返ってみても不義理ばかりしており、それにもかかわらず、監事という役を拝命したことについては、ただただ恐縮

するばかりであります。

しかし、役を受けた以上、中垣会長をはじめとするそうそうたるメンバーの名青税活動ができるだけスムーズに進むよう、また、「名青税、いつやるの?今でしょ!」のスローガンに違わぬ活動になるよう、努力させていただく所存です。

今年1年、なにとぞよろしくお願いいたします。

監 事



峯澤 俊 充 (中川支部)

今年度、監事を務めさせていただくことになりました中川支部の峯澤俊充です。

名青税の活動実績はほとんどございませんが、最後の年になるかと思っておりますので、少しでも名青税のお役に立てよう頑張りますので、一年間よろしくお願い致します。

監 事



後藤 真弓 (中支部)

中 支 部 長

今年度、中支部の支部長を拝命いたしました後藤真弓です。

趣味はバレーボール、スノーボード、ゴルフ、山登り、音楽、絵画鑑賞などなど、全てに全力投球のタフな O型、乙女座…そして、なんといっても肉好きです。

会員に恵まれ、支えられながらの一年になると思いますが、なにより、皆様との絆を大切にしたい一年!に致します。

楽しい一年!に致します。

勉強も遊びも、皆で楽しんで盛り上げて参りますので今年一年、宜しくお願い致します。



佐藤 昌哉 (東支部)

東 支 部 長

今年度名青税東支部の支部長を務めることとなりました佐藤昌哉です。

名青税2年目にもかかわらず支部長ということでだらしく緩みきった身も尋常じゃなく引き締まる思いです。

私自身、普段はクラシックギター、オーディオ、カメラ、機械弄り、ガンプラと至って体を動かさない趣味が中心となっていますが今年度は支部長

として率先して体を動かして行事に参加したいと思っています。ただ残念ながらアルコールを受け付けない体質なので懇親会ではコーラ、ジンジャエール、バヤリースを片手に盛り上げて参る所存です。

こんな私ですが精一杯務めますので今年1年よろしくお願いします。



舟橋 武史 (千種支部)

千 種 支 部 長

今年度、千種支部の支部長を務めさせていただくことになりました舟橋武史です。

これまで名青は部の部員程度の活動でしれっとしていましたが、今年は支部長としてしっかり参加させていただきます。

千種支部が誇るアクティブ会員のほとんどを名青の役員に取られてしまい、名青行事と一緒に動ける人がいなくなってしまうととてもとてもさ

びしいので、新たなアクティブ会員を増やすことを目標に一年間がんばっていききたいと思っています。よろしくお願いいたします。



伊藤 彰宣 (北支部)

北 支 部 長

今年度北支部支部長を務めさせていただく事になりました伊藤彰宣と申します

支部として、濱田副会長・小林総務部長を支えるような支えないような、迷惑を掛けるような掛けないふりをするような、そんな絶妙な立ち位置で名青税に関わっていければいいな、と意気込んでおります。

北支部会員の皆さまが名青税行事に楽しく参

加できるよう微力ながらお手伝いできればと祈っている次第であります。

今年一年宜しくお願い致します。

ちなみに好きな言葉はミルフィーユです。



後藤 大輔 (西支部)

西 支 部 長

この度、西支部の支部長を務めさせて頂くこととなりました後藤大輔です。

気が付けば、税理士登録と同時に名青税に入会して早3年が経ちました。私自身この3年間、研究部や制度部で貴重な経験をさせて頂きました。

今年度は、初めて支部長という大役を仰せつかりましたが、一人でも多くの会員に私同様、名青税ならではの醍醐味を味わってもらえるよう、

微力ながら尽力したいと考えております。1年間よろしくお願いします。



佐々木 淳一 (中村支部)

2013年度、中村支部の支部長を務めさせてことになりました佐々木淳一です。

名古屋駅周辺を支部エリアにしているという特殊な事情があり、いろいろな難しさを就任してから感じております。

私の簡単な自己紹介をしますと、海外でのサッカー観戦が好きです。2006年ワールドカップの時には、一人旅をし、ドイツ各都市を周遊し、計4

試合の生観戦をしてきました。

円滑な会務ができるよう、皆様のご助力のほど、よろしくお願いします。

中 村 支 部 長



米 津 覚 登 (昭和支部)

今年度、昭和支部の支部長を務めさせていただくことになりました米津覚登です。

最近ビールの飲みすぎでお腹が。。。記憶が。。。。

昔はそんなことなかったのですが(-_-)

年齢のせいでしょうか？

飲みすぎには注意しながら頑張っていきたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願い致します。

昭 和 支 部 長



伊 藤 進 (熱田支部)

このたび、熱田支部の支部長を務めさせていただくこととなりました伊藤進です。

私は小学校の時から高校まで野球部に所属していましたので、体力には自信がありますが、学力には自信がありません(笑)。ちなみに得意科目は算数(数学は苦手)、特に苦手な科目は、税法です(笑)。あと、ずっと野球をやっていたので、今でもドラフト会議の日は事務所の電話が鳴

るたびにソワソワしています(笑)。こんな私が伝統ある熱田支部の支部長をやるのは世も末ではございますが(笑)、新入会員を増やして今まで以上に名青税も支部も盛り上げていきたいと思っています。

では皆様、1年間どうぞよろしくお願いします

熱 田 支 部 長



小 出 繁 明 (中川支部)

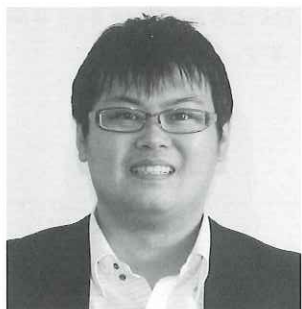
今年度、中川支部の支部長を務めさせていただくことになりました小出繁明と申します。

中垣会長と同じく生まれも育ちも中川区、中日ドラゴンズファンです。

私は、名青税に入会して6年目になるのですが、入会后3年間はまったく活動していないに等しく、直近2年間は、研究部・厚生部の活動に僅かながら参加した程度です。

このような状況下で支部長の大役を任せられる事は余りにも荷が重く、不安な要素が多々ありますが、結束力のある支部ですので、正会員・賛助会員の先生方のお知恵をお借りしながら一年間がんばっていききたいと思います。

中 川 支 部 長



山 本 祥 嗣 (半田支部)

本年度、支部長を務めさせていただく山本祥嗣です。

昨年は半田支部に1名の新入会員が入会しました。その一人が私です。前支部長と同じく、名青税一年目の支部長。限りなく不安ですが、諸先輩方にご支援賜りながらこなしていきたいと思っています。

私は今年38歳、8xキロの体ですが、昨年はフルマラソンに挑戦しました。マラソンは常に2択

問題。ゴールか、リタイヤか。どちらを選ぶのも自由です。諦めずに足を出し続けてたどり着くゴールは、他で味わえない達成感を与えてくれます。この達成感を皆さまとも分かち合いたく、名青税半田支部マラソン大会の実現に向けて、...

と冗談はさておき、支部の皆さまにとって充実した一年となるよう支部行事を企画していきたいと思っています。

半 田 支 部 長

名古屋青税 合同部会 合同懇親会

6月8日(土)名古屋都市センターにて合同部会が、午後5時より中華料理萬珍館にて合同懇親会が行われました。

今年の合同部会は、新設された組織問題検討委員会も含めて、昨年までとは違う各部会の開始時間が異なる開催でした。そのため会長は時間を調整して各部会を回られ、組織・広報部会にも参加をしていただきました。そして、部長より部の説明及び自己紹介を行いました。

また、合同懇親会では各部ごとに分かれて着席をし、会長の「1年間各部が充実した活動になるよう楽しみましょう!」というご挨拶の後、乾杯で幕開けとなりました。

楽しく中華料理の食事を楽しむ中、各部の紹介があり、副会長・部長が代表をして抱負を述べられ、名青税各部の活動を誓いました。

さらに、先月行われた定時総会の目玉であり可決された「5年ルールの規約改正」により、名青税の正会員として活動をされる4名の先生方(1人欠席)の紹介をし、1人ずつお言葉を頂戴しました。

最後に、準備をしていただきました執行部の皆様、ありがとうございました。今年のスローガン「名青税、いつやるの? 今でしょ!」にえられるよう、組織・広報部員として、1人でも多くの方が名青税に入会をしていただけるように努めて参ります。今後ともよろしくお願い致します。

熱田支部 丹羽 亮二



過去の広報誌を振り返って

大野：それぞれの組織・広報部時代のお話からお伺いしたいと思います。過去の広報誌を見て驚いたのですが、外国人を名青税のイメージキャラクターにしている年がありますね。

後藤：あっ、確か、それは僕が広報担当副会長をしていた時かな。外国のモデルさんを手配して、1年間名青税のイメージキャラクターになっていた。でも、目的としては、ただ単純に名青税のホームページの閲覧数を上げたかっただけです。(広報誌 No.178)

大野：これはインパクトありますよね!

後藤：閲覧数を上げるには、文字よりもビジュアルにこだわろうと思ひまして。ちょうどその年は、研究部のテーマが外国の税務という話を聞いていましたから、どうせなら外国人を名青税のイメージキャラクターにしたらというのが、始まりだったと思います。

中垣：きちんと税務のテーマにも繋がっていますね。

後藤：見る理由がどうであれ、それが名青税を知ることのきっかけになればと思ってね。賛否両論色々あったけど、本当に閲覧数を上げることを目標に、当時の部長の小関先生、副部長の赤堀先生と一丸となってがんばりましたね。

大野：実際、その反響はどうでしたか?

後藤：閲覧数はかなり上がりましたね、数字はあまり覚えていないけど…反響はすごかったですね。いい意味でも悪い意味でも(笑)。今までの数字が悪すぎた。

大野：あと、過去の広報誌を見て、私自身覚えているのが、ラジオ広報です。田中先生が、組織・広報担当副会長の時ですよね?

田中：確か片山会長(平成21年)の時だったかな。コミュニティFMを使って、確定申告の話をしたのですが、初めての事でしたから、部員の皆さんと一緒に時間かけてシナリオを考えましたね。

(広報誌 No.191)

大野：ラジオ広報の成果としては、どうでしたか?

田中：成果としては、地域のコミュニティFMだったということもあって、実際の聴取率はあまりよくなかったかな。事業としては、成果を出さなければいけないと思うけど、多くの部員さんがやりたいと思った事を楽しくやれたことが、一番の成果だったと思います。

中垣：名青税として、部員さんが楽しく活動できるっていうのは大切ですよ。

田中：成果が求められる点としては、他の部と比べ、組織・広報部は、実は損な部かもしれないね。どうしても、費用対効果としての数字が求められてしまうから。他の部だと、例えば、研究成果を発表したり小冊子にまとめたりする達成感があつたり。



厚生部で言えば、1つ1つの行事を無事に終わらせることで得られる達成感が、1つの完成形だから。

中垣：私も様々な部員をしてきましたが、組織・広報部としての活動の難しさは感じます。

田中：その点、組織・広報部は、名簿やホームページの管理だったり、広報誌を発行したり、毎年だいたいやる事が決まっています、部の活動としてはあまり目立たないから自己満足的な部分が大きいかもしいね。

大野：組織・広報部自体の活動って、なかなか外には伝わりづらい部分がありますよね?

後藤：それは仕方ない事かなって思うよ。だって、広報誌がそうだけど、他の部の活動取材して、効率よくいかにすばらしい活動をしているかを伝えるのが本来の組織・広報部の活動であるから。

田中：広報活動の成果がどうであれ、組織・広報部自体がまず楽しまないと。そうじゃないと、他の部の楽しさも伝えられないと思うよ。

広報誌 創刊200号「特別対談」

(今回の特別対談にあたり)

広報誌創刊200号の記念号として、組織・広報部独自の視点から特別対談を企画させていただきました。ここ数年の正会員数の減少から、名青税における広報活動の重要性がさらに増している現状があります。そこで、今までの名青税の広報活動を先導してきた2人の賛助会員をお招きし、過去の広報誌を囲みながら、名青税が行う広報活動の意味や、その重要性を語っていただきたいと思います。

対談
テーマ

「今、名青税にとって、必要な広報とは?」
～過去から現在、そして、未来へと受け継がれる広報誌～



これからの組織・広報部の活動について

大野：最近、名青税の課題としては、正会員数の減少があります。組織・広報部ができる活動は何があると思いますか?

後藤：私が組織部長だった時は、確か各支部の未入会者の対象者リストを作成して、支部長に渡したりしていたかな。「この方々は青税の未入会者です。是非ともお声掛けの方お願いします」って。やはりその辺りの情報を提供することも必要ですよ。

中垣：正会員数が減少している中で、組織を維持していくためには、今後、組織・広報部の中でも組織部としてのウェイトも大きくなっていくと思います。

後藤：今後は、組織・広報部を以前のように組織部と広報部とに分けるのか、副部長をより増やすのか、そういう必要性が出てくるのかもしれないね。

大野：組織・広報部としては、正会員を増やすために何を伝えればいいと思いますか?

田中：まずは何よりも多くの方に名青税活動その

ものを伝えるのが大切だと思う。他の会員が名青税をアピールする1つのツールとして、広報誌だったりホームページを使ってもらえればって思います。だから、組織・広報部はそのツールを作るお手伝いをしていることを再認識する必要があるのかもしれないね。

中垣：ホームページや広報誌、ブログやfacebookなど、色々な人に名青税に触れる機会を増やすことが、今後さらに必要なのかもしれませんね。

大野：名青税における組織・広報部の重要性もさらに増えますね。

後藤：そうだと思います。組織・広報部って、すべての部の活動を把握しておかないといけないし、すべての役員とも仲良くなれないといけないという点では、総務部的な役割があるかもしれない。各部の部員さんの事も知っていると、広報誌の原稿の依頼もできないし。そこからまた人材が生まれていく場合もありますね。

田中：名青税で活動している人のことを伝えないといけないから、その人の事をよく知らないとう

まく伝えることもできないと思うし。やっぱり、人との繋がりが重要視されるのが、組織・広報部なんだと思いましたね。

大野：総務部的な役割、人との繋がりでですか。改めてとても重要な部だと認識しました。

田中：型にはまっていないのも組織・広報部だと思うよ。組織・広報が目的なら、ある意味、手段は何でもいいと思うんだよね。これからも、新たな事にチャレンジしてもらいたいって思います。

後藤：自由度から言えば、他の部と比べてあるし、また広報誌やホームページなど、すぐ表現できる媒体も多くてスピード性もあるから、どんどん新しい事をやってもらいたいよね。

大野：自由度とスピード性ですか。あと、最初に言われていましたインパクト!ですよ。

後藤：そうそう。インパクトもそうだね。これから重要施策となると思われる「租税教室」に関して、青税らしくこだわってやっていただきたいですね。例えば、名青税ならではの女子大で租税教室をやるとか?これは本会がやりますかね?残念。この施策に関しては完全に組織・広報部の分野ですから、ついに組織・広報部の時代が来たって感じですね。

中垣：参加者多数になりそうですね。もちろん、税理士の方が(笑)。

後藤：インパクトあつた方が、広報活動も勢い付く



でしょ？組織全体も盛り上がるんじゃないのかな。また、新しいことを考え、実行出来ることが名青税のよいところですね。

田中：組織・広報部だからできることを、これからも色々やってもらいたいですね。

中垣：これからの組織・広報部に期待したいですね。

名青税の魅力とは？

大野：皆さんにとって、名青税の魅力って何ですか？

後藤：名青税の魅力は、チャレンジして失敗しても許されるところかな。あと、支部の垣根を越えた人との繋がりができるところ。名青税に入会していなかったら、支部だけの繋がりが生まれなから。支部によって、それぞれ色も違うし、他の支部の会員との繋がりは本当に面白かったな。

中垣：名青税の繋がりは、とても大きいと思います。仕事の話もそうですし、なかなか人には聞けない話ができるのも名青税だと思います。

後藤：名青税というのは、その活動を通じて、個々の会員同士の繋がりがもそうだし、他の単位青税だったり他団体だったり、あらゆるネットワークを作ることができるから、きっとその人の財産になっていくと思うし、いろいろと刺激も受けますよね。

中垣：各支部が集まることによって、より楽しい事が色々できるのも名青税の魅力ですね。

田中：あと名青税を通じて、仕事の幅が広がった

かな。例えば、各行事を企画するにあたって、初めての事ってやっぱり負担に感じるんだけど、業者や他団体と打ち合わせをしたり、そして人を集めたりと、通常の仕事では経験することができないことを経験できるのが名青税かなって思いましたね。

後藤：名青税の活動を通じて、税理士業務にフィードバックできればと思っています。例えば、ある行事を行う時にどうすれば人を集める事ができるのかを考える。それって、税理士が顧客を獲得する手段にもつながると思いますよ。

中垣：フィードバックですか。本当に仕事の幅も広がりますよね。

後藤：名青税の活動を無駄な事と考える人もいるかもしれない。でも、無駄な事であったとしても、多くの引出しが増える事は、きっとその人にとっては無駄な事じゃないと思うんだけどね。これからの税理士業務は、税務以外にも本当に色々な引出しがないと生き残れないと感じますね。

今の正会員へ一言

大野：賛助会員の立場として、今の名青税をどう思いますか？

田中：難しい質問だけど、以前と比べ、多くの会員が名青税行事に参加しているところは、すごいことだと思いますね。

大野：それは意外でした。過去の広報誌を見てい

ますと、今以上に様々な行事を行っていますから。後藤：それは、その時その時のやりたがり、ただやりたかっただけだと思うよ(笑)。事務局で難しい事を話し合うだけじゃなく、居酒屋でお酒でも飲みながらいろいろな話をしていると、その中からアイデアが出てくることもありますね。

田中：堅苦しく考えずに、遊び心をもってやれば、より楽しい名青税行事になると思う。ラジオ広報もやってみて初めて分かった事も多いから。失敗を恐れず、そして何よりも部員さんが楽しむことが大切だね。

後藤：若い人たちは、どんどんやりたい事を言ってもらいたいです。そして、それぞれが考える名青税を表現してもらいたいです。

田中：そうですね。私たち賛助会員は、ただそんなやりたいていう若い人たちの手助けができればって思っていますから。

中垣：今の正会員にとって、本当に心強いです。

後藤：私たちの知識やコネをどんどん使ってもらいたいですね。それがみなさんの引き出しになり、名青税の活性化に繋がれば、こんなにうれしいことはないと思いますよ。賛助会員の立場でみなさんそう思っていますよ。あと、田中先生といつも話すのは、若い人に迷惑をかけないようにしようって(笑)。次世代を担う若い人がリードしていくことが、名青税の発展につながると思います。



「広報活動、
いつやるの？
今でしょ！」

平成25年度 会長
中垣 吉晴

(役歴)平成22年研究部長、平成23年厚生部長、平成24年厚生担当副会長、平成25年会長他。今年度のスローガン「名青税、いつやるの？今でしょ」を掲げ、その大きな存在感で名青税を引っ張る今年度名青税会長。

(コーディネーター)平成25年度組織・広報担当副会長／大野 治彦、(撮影・会場設営)平成25年度組織・広報部長／白井



「一見すると
くだらない事を
真剣にやれる幸せ」

平成17年度 広報担当副会長
後藤 基文

(役歴)平成13年広報部長、平成14年組織部長、平成17年広報担当副会長他。まだ組織・広報部が組織部と広報部が分かれていた当時から名青税の事をよく知る、組織・広報部の長老。



「人との繋がりが
重要視されるのが、
組織・広報部」

平成21年度 組織・広報担当副会長
田中 聡一郎

(役歴)平成19年組織・広報部長、平成20年、21年組織・広報担当副会長他。正会員の期間のほとんどを組織・広報部と共に歩んだ、マスター組織・広報部。

義人、平成25年度組織・広報副部長／赤堀 智信・俵 直人

大野：本当にありがたいお言葉です。賛助会員の皆様のサポートの下、正会員が今の名青税をリードしていく…名青税の可能性がどんどん広がっていきますね。

中垣：名青税としては、賛助会員の皆さんにも助けてもらいながら、これからも新しい事にチャレンジしていきたいと思っています。

田中：何をしても批判は出てくるものだから、失敗を恐れず新たな事を建設的に作り上げていく気持ちが必要だと思います。

中垣：やはり、以前と比べ、勤務税理士の方も増えてきている中で、青税活動が制限されている会員も増えています。

田中：色々難しさもあるかもしれないけど、今新しい事をやることで次に続く後輩たちも新しい事を作り出す環境に慣れてくると思うし、何よりもこれから続く人たちのために新しいことをやってほ

しいですね。

後藤：そうそう何事も勉強ってことで。

大野：さきほど会長が言われたように、名青税活動への負担を感じている会員も少なからずいるのが、今の名青税の現状かもしれない。

後藤：そう思うけど、税理士業務しているだけでは経験できない事が名青税にあると思うよ。名青税活動を負担に感じる人もいるかもしれないけど、名青税活動をしていると色々な繋がりが生まれたり、様々な経験を重ねる事ができるよ。その人にとっては大きな財産になると思うよ。

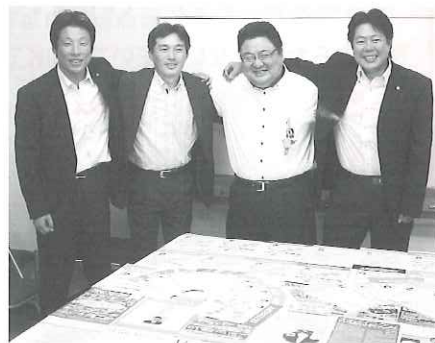
中垣：賛助会員の方が部員として参加していただける事は、本当にありがたく感じています。これからもよろしくお願ひいたします。

大野：本日はお忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきまして、本当にありがとうございました。今後とも、組織・広報活動にご協力の程よろしく

お願いいたします。

後藤・田中：こんなゆるキャラの賛助たちですが、今までお相手いただきありがとうございました。名青税のますますのご発展を祈念するとともに、皆様方のご活躍を楽しみにしております。

<了>



対談 後藤 記

今までの名青税の歴史や、それらに携わられた人達の気持ちに接することができた、とても意義のある楽しい対談となりました。今回、過去の広報誌に触れたり、対談を通じて感じた事は、その時代時代の名青税に対する考え方の違いはあるかもしれませんが、ただ変わらないものとして、人と人との繋がりと名青税に対する熱い想いでした。広報誌という、人と人との繋がりを表現した媒体を通じて、私自身もこの1年間

の名青税の活動、そして、その熱(魅力)をお伝えしていきます。最後に、これまで広報誌を飾っていただきましたすべての方に、改めてお礼を申しあげて、今回の対談を終わらせていただきます。本当にありがとうございました。

(※今回の記念対談を機に集めました過去の広報紙については、デジタル化して名青税HPにて公開する予定です。お楽しみに！)

新入会員 募集中!!

今でしょ!



今回お届けしたこの広報誌『MeiSeiZei』では、我々の活動のうちほんの一部しか載せることができませんでした。

気になった方はぜひ「名青税」で検索を

名 青 税

検 索



<http://www.meiseizei.gr.jp/>

我々、名古屋青年税理士連盟のHPにすぐにたどり着けます。40歳以下の会員を中心に【懇親】や【研修】などを行っています。

近々開催予定の行事はです。興味を持たれたら身近な名青税会員に声をかけていただいても結構ですし、名青税HPからお問合せいただいてもOKです。

この広報誌に載っているメンバーを探してみるのも良いかも。案外、近くにありますよ。

名青税 会員・家族懇親会

日 時：平成25年8月25日(日)

場 所：愛知県警察本部交通部
岡崎駒立ぶどう狩組合 幸果園

今年の家族会は、乗車体験や白バイ隊訓練を見学したり、ぶどう狩りをしたり盛りだくさんです。
昼食はバーベキューをお楽しみください。

第1回 名青税合同研修会

日 時：平成25年9月14日(土)

場 所：TKP名古屋ビジネスセンター

第1部 研究部 テーマ「実写版 よくわかる税法入門
& 税理士春香の事件簿」

講 師：三木義一氏(大学教授・弁護士)

第2部 制度部 テーマ「韓国税務士制度について」

講 師：東本真依氏(税理士)

編集後記

皆さん、広報誌の発行が1か月遅れているの気づかれた方いますか?

例年は7月に発行されているのですが、中垣執行部の1回目の広報誌が、第200号の記念号となり、組織・広報部らしい特集を組みたいと色々考え、今回「特別対談」を行い記念号の目玉とさせていただきます。

また、広報誌以外に、ホームページやブログ等で活動内容をアップしていますので、そちらも

是非ご覧ください。

この記念号の発行にあたり、中垣吉晴会長後藤基文前副会長・田中聡一郎前副会長(有真清社の河野様、ご協力いただき有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

最後に、今年度の組織広報部は、名青税を一人でも多くの人に知ってもらえるよう、広報活動していきたいと思っています。

1年間宜しくお願い致します。

組織・広報部長 白井義人

名古屋青年税理士連盟

〒464-0067

名古屋市千種区池下一丁目8-18 仲田ビル1F

<http://www.meiseizei.gr.jp/>

編集責任者/組織・広報担当副会長 大野治彦

発 行 所/名古屋青年税理士連盟 組織・広報部

印 刷 所/有限会社 真清社